

平成28年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
鞍手町民生委員児童委員協議会 定例会

【開催日時】平成28年11月9日(水) 14:00~15:00

【開催場所】鞍手町総合福祉センター くらじの郷 研修室A・B(鞍手郡鞍手町大字新延414-1)

【内 容】鞍手町民生委員児童委員(認知症サポーター)向け研修会

【主 催】鞍手町福祉人権課・鞍手町民生委員児童委員協議会

昨年度、鞍手町保険健康課の保健師の依頼で「平成27年度 若返り教室(介護予防)5回シリーズ」の内、1回を南川センター長・院長が講師で伺いました。その後、鞍手町保険健康課の保健師と協議を重ねる中で、鞍手町民生委員児童委員協議会の定例会にて、鞍手町民生委員児童委員(認知症サポーター)向け研修を行うこととなりました。

参加者数は46名です。

内容は、①認知症サポーターの位置付けの変遷

②新オレンジプランとエリアの状況

③福岡県認知症医療センターの役割

④相談・新患受診予約の流れ

⑤直轄地区の認知症初期集中支援チームの概要説明と事例紹介 でした。

参加者の方に「民生委員児童委員(認知症サポーター)として認知症高齢者に実際、関わった方がおられますか」と質問したところ、思いのほか、少なかつた点に驚きがありました。この点は、鞍手町福祉人権課・地域包括支援センターの方々に地域の状況を確認し、今後何らかの取り組みが必要になるのかもしれないと感じたところです。

また、認知症対応力向上研修の修了した医師について、質問がありました。私自身の確認不足で回答ができませんでしたが、別の民生委員児童委員の方から回答をいただきました。

新オレンジプランの中に『認知症高齢者等にやさしい地域は、決して認知症の人だけにやさしい地域ではない。コミュニティーの繋がりがこそその基盤。認知症高齢者等にやさしい地域づくりを通じ地域を再生するという視点も重要』とあります。この点を忘れずにしていきたいものです。今後、取り組みによって地域特性は更に顕著になっていくのでしょうか。

最後に、開催にあたり調整にご尽力いただいた関係機関の方、参加者の皆さまにはご多忙の中、ご参加いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

(葉室)